

産業廃棄物処理計画書

令和 6 年 6 月 21 日

福岡県知事 殿

提出者

福岡県直方市大字上境40番地の1
住 所九州住友ベークライト株式会社
氏 名
工場長 前田 将克

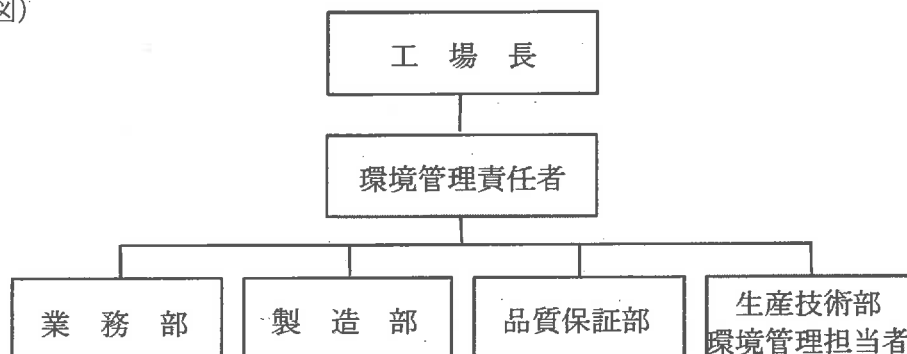
電話番号 0949-23-1911

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	九州住友ベークライト株式会社
事業場の所在地	福岡県直方市大字上境40番地の1
計画期間	令和6年4月1日 から 令和7年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	E. 製造業
② 事業の規模	2023年度 売上高118億8175万円
③ 従業員数	229人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	産業廃棄物 — 収集・運搬 (委託) — 中間処理・最終処理 (委託)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	廃油
	排出量	772.180 t	430.960 t
	産業廃棄物の種類	汚泥	金属くず
	排出量	41.862 t	50.540 t
	産業廃棄物の種類	木くず	廃酸・廃アルカリ
	排出量	4.700 t	0.160 t
	産業廃棄物の種類	蛍光管	乾電池
	排出量	0.050 t	0.025 t
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	（これまでに実施した取組） ・ 工程異常、検査異常削減による廃棄ロス削減 ・ 設備対策を含めた生産性向上による廃棄ロス削減 ・ 生産条件、連続生産性により歩留向上による廃棄ロス削減		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	廃油
	排出量	568.535 t	450.000 t
	産業廃棄物の種類	汚泥	金属くず
	排出量	40.000 t	50.000 t
	産業廃棄物の種類	木くず	廃酸・廃アルカリ
	排出量	4.000 t	0.150 t
	産業廃棄物の種類	蛍光管	乾電池
	排出量	0.050 t	0.025 t
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	（今後実施する予定の取組） ・ 工程異常、検査異常削減による廃棄ロス削減 ・ 設備対策を含めた生産性向上による廃棄ロス削減 ・ 生産条件、連続生産性により歩留向上による廃棄ロス削減		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 廃棄物の種類を明確にして、保管場所を設置し 分別管理を適切に実施している。	
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 特になし。	

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	廃油
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	汚泥	金属くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	木くず	廃酸・廃アルカリ
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	蛍光管	乾電池
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	廃油
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	汚泥	金属くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	木くず	廃酸・廃アルカリ
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	蛍光管	乾電池
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	廃油
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	汚泥	金属くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	木くず	廃酸・廃アルカリ
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	蛍光管	乾電池
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	廃油
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	汚泥	金属くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	木くず	廃酸・廃アルカリ
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	蛍光管	乾電池
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	廃油
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	汚泥	金属くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	木くず	廃酸・廃アルカリ
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	蛍光管	乾電池
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	廃油
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	汚泥	金属くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	木くず	廃酸・廃アルカリ
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	蛍光管	乾電池
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項 1枚目 (1品目目から4品目目)

①現状

【前年度（ 5 年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	廃油
全 処 理 委 託 量	772.180 t	430.960 t
優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	772.180 t	430.960 t
再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
産業廃棄物の種類	汚泥	金属くず
全 処 理 委 託 量	41.862 t	50.540 t
優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	41.862 t	50.540 t
再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t

(これまでに実施した取組)

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	廃油
全 処 理 委 託 量	568.535 t	450.000 t
優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	568.535 t	450.000 t
再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
産業廃棄物の種類	汚泥	金属くず
全 処 理 委 託 量	40.000 t	50.000 t
優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	40.000 t	50.000 t
再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t

(今後実施する予定の取組)

産業廃棄物の処理の委託に関する事項 2枚目 (5品目目から8品目目)

①現状	【前年度 (5 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	廃酸・廃アルカリ
	全 処 理 委 託 量	4.700 t	0.160 t
	優良認定処理業者への委託量	4.700 t	0.160 t
	再生利用業者への委託量	t	t
	認定熱回収業者への委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への委託量	t	t
	産業廃棄物の種類	蛍光管	乾電池
	全 処 理 委 託 量	0.050 t	0.025 t
	優良認定処理業者への委託量	t	t
	再生利用業者への委託量	0.050 t	0.025 t
	認定熱回収業者への委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	廃酸・廃アルカリ
	全 処 理 委 託 量	4.000 t	0.150 t
	優良認定処理業者への委託量	4.000 t	0.150 t
	再生利用業者への委託量	t	t
	認定熱回収業者への委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への委託量	t	t
	産業廃棄物の種類	蛍光管	乾電池
	全 処 理 委 託 量	0.050 t	0.025 t
	優良認定処理業者への委託量	0.050 t	0.025 t
	再生利用業者への委託量	t	t
	認定熱回収業者への委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項 3枚目 (9品目目から12品目目)

①現状	【前年度（ 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への委託量	t	t
	再生利用業者への委託量	t	t
	処理委託業者への委託量	t	t
	認定熱回収業者への委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への委託量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への委託量	t	t
	再生利用業者への委託量	t	t
	処理委託業者への委託量	t	t
	認定熱回収業者への委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への委託量	t	t
	再生利用業者への委託量	t	t
	処理委託業者への委託量	t	t
	認定熱回収業者への委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への委託量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への委託量	t	t
	再生利用業者への委託量	t	t
	処理委託業者への委託量	t	t
	認定熱回収業者への委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		